

研究実施のお知らせ

研究課題名

腫瘍の遺伝子発現解析に関する研究

研究の対象となる方

2010年1月から2015年11月の間に神奈川県立がんセンターでがんの外科切除手術を受けられた方のうち、がん研究への包括的同意を頂いている方

研究の目的

この研究は、がん細胞や周囲の非がん細胞でどのような遺伝子が発現しているかを解析して、がんの本態解明に資する研究、がんの診断法、治療法の開発研究を実施します。

研究の方法

2010年1月から2015年11月の間にがんの外科切除を受けた患者さんのうち、がん研究への包括的同意を頂いている方の手術前に研究用に採血させて頂いた血液、切除されたがん組織、病理診断用のパラフィンブロックから作製した組織アレイ（1回で多数の患者さんのがん組織での遺伝子発現を免疫染色などの方法で解析出来る様にしたもの）、を用いて、免疫学的な方法、分子生物学的な方法を用いて、様々な遺伝子の発現を解析します。診療記録から以下の情報・臨床データを収集し、遺伝子の発現状態との関連を解析します。神奈川県立がんセンターの研究責任者および研分担者が、研究実施計画書の規定に従い臨床データを入力したエクセル表を作ります。患者さんの情報は、容易に個人を特定できないように符号化し、研究用に割り振られた番号と患者さんを結びつける対応表は外部に提供しません。収集した情報は本研究の共同研究機関と共有します。また、研究成果を学会や学術雑誌で公開する場合がありますが個人が特定できない状態で行います。

[研究に用いる情報の種類]

患者情報(治療開始時)

性別, 年齢

腫瘍情報

原発臓器, 病理組織診断、遠隔転移臓器

治療情報

投与された治療薬、病勢の増悪の有無、増悪確認日
その他

最終転帰(生存の有無、生存確認日または亡くなられた日、死因 等)

[研究の期間]

2015年11月～2026年3月

[試料・情報の利用又は提供を開始する時期]

2015年11月

外部への試料・情報の提供

収集した情報は、臨床研究所がん分子病態学部に集約し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管・管理します。試料（検体）は、東京大学医科学研究所で解析されます。

研究資金および利益相反

資金源は競争的公的研究費です。この研究は医学的視点から行われ、特定の企業や団体の利益や便宜を図るものではないため、申告すべき利益相反状態はありません。

研究組織

この研究は他機関との共同研究として行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

（施設名）神奈川県立がんセンター臨床研究所（氏名）宮城洋平

共同研究機関

（施設名）東京大学医科学研究所付属病院 抗体ワクチンセンター

（氏名）醍醐弥太郎

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、詳しいことをご知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者: (氏名) 宮城洋平
連絡先: 神奈川県立がんセンター臨床研究所
住所 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2
電話番号 045-520-2222 (代)